

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	水質検査機器整備事業	広島市	12,927,600	11,970,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	水質検査機器整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		広島市	
交付金事業実施場所		広島市安佐北区落合南六丁目1番1号	
交付金事業の概要	平成17年度に整備した現行機器は法定耐用年数(5年)を大きく超過しており、経年劣化により動作不良の恐れがあるため、ガスクロマトグラフ質量分析装置 島津製作所製 GC-2010Plus に更新します。		
総事業費	12,927,600	交付金充当額	11,970,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	11,970,000
交付金事業の成果目標	水質検査の測定値は、水質基準値等を判断基準として飲用の可否を判断するための指標であることから、正確な測定値が得られることは大変重要な事項です。このことから、測定機器の精度を確保することは、水道水の安全性を担保する上で重要な要素になります。この度の交付金を充当して更新する水質機器により、正確な水質検査を行うことで、電源地域の方々に対して、水道水の安全性の確保をより確実なものとしします。		
交付金事業の成果指標	現在使用しているガスクロマトグラフ質量分析装置は、経年劣化による感度不足から、測定値に±20%の誤差を生じる可能性があります。今回更新するガスクロマトグラフ質量分析装置では、新たな試料導入方法を採用することにより、測定誤差を±10%にすることを目標としています。		
交付金事業の成果及び評価	水道水の水質検査には微生物や化学物質などの多種多様にわたる分析・測定が求められています。今回購入した機器は、水質検査業務において、揮発性有機化合物の測定に用いるものであり、その誤差率は、-10.7%から+7.9%で、検査対象の揮発性有機化合物17項目中、±10%の範囲外となったのは1項目のみでした。目標であった測定誤差±10%を概ね満たしていることから、検査の精度は確保できたと評価しています。今回の交付金事業により、水道水の水質検査精度を確保し、お客さまへ信頼性のある水道水を提供することが可能となりました。		
交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方
	ガスクロマトグラフ質量分析装置購入	一般競争入札 (入札後資格確認)	日新精器株式会社
		計	12,927,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度該当なし

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	水質検査の周辺機器整備事業	広島市	1,317,384	497,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	水質検査の周辺機器整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		広島市		
交付金事業実施場所		広島市安佐北区落合南六丁目1番1号		
交付金事業の概要		平成17年度に整備した現行の高圧蒸気滅菌器及び平成8年度に整備した現行の自動採水器は、法定耐用年数(6年)を大きく超過しており、経年劣化により動作不良の恐れがあるため、高圧蒸気滅菌器(ヤマト科学株式会社製 ST501)及び自動採水器(ISCO社製 Model3700 ウォーターサンプリャー)に更新します。		
総事業費	1,317,384	交付金充当額	497,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	497,000	
交付金事業の成果目標	<p>水質基準項目である一般細菌及び大腸菌は、シャーレ等で培養を行い判定する方法で検査していますが、培養した培地には病原菌等が繁殖しているおそれがあるため、滅菌処理を行うよう法令により定められています。このため、高圧蒸気滅菌器により確実な滅菌処理を行います。</p> <p>また、水質基準項目であるジェオスミン及び2-MIBはカビ臭物質であり、広島市の水道水源である太田川に分流されている土師ダムで発生した際には、浄水場にて活性炭を使用してカビ臭物質の除去を行っています。このダムからの放流水は間欠放流されるうえ、浄水場に到達する時間やカビ臭物質の濃度は、河川流量や水位、放流時間等によって変化するため、自動採水器を用いて24時間連続採水を行うことで、放流水の影響時間やカビ臭到達濃度を把握し、確実、適切な活性炭処理を行います。</p> <p>この度の交付金を充当して更新するこれらの機器により、万全な水質管理体制を確保することで、電源地域の方々に対して、安全でおいしい水を提供します。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>高圧蒸気滅菌器は、培地を121℃、100kPaで滅菌する機器ですが、培地を滅菌せずに廃棄した場合、感染や環境汚染を引き起こす可能性があることから、高圧蒸気滅菌器を更新することで滅菌を100%実施することを目標としています。また、自動採水器を更新することで、確実で効率的な活性炭処理を行い、水質基準達成率100%を継続することを目標としています。</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>水道水の水質検査には微生物や化学物質などの多種多様にわたる分析・測定が求められています。今回購入した機器のうち、高圧蒸気滅菌器は、一般細菌等の微生物検査に使用した器具類の滅菌に用いるものであり、安定して高温・高圧の状態を維持できることから、引き続き、100%の滅菌が可能となりました。</p> <p>また、自動採水器は河川水中のカビ臭物質の濃度変化を把握するために利用しており、濃度変化に対応した活性炭処理を行った結果、水質基準達成率100%を継続しています。</p> <p>二つの機器について、目標であった数値は達成できていることから、水道水の安全性及び快適性は確保できていると評価しています。今回の交付金事業により、お客様へより安全でおいしい水道水を提供することが可能となりました。</p>			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
高圧蒸気滅菌器購入		随意契約(オープンカウンタ)	小川精機株式会社	572,184
自動採水器購入		随意契約(オープンカウンタ)	大塚器械株式会社	745,200
		計		1,317,384
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度該当なし		
(備考)(1)事業ごとに作成すること。				

- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載